

東京都立成瀬高等学校 第43回卒業式 式辞

恩田川の桜のつぼみも膨らみ、春の息吹が、ひしひしと感じられる
今日、この頃。

本日ここに、令和4年度東京都立成瀬高等学校、第43回卒業式を挙行するに当り、多数の来賓の皆様をはじめ、保護者の皆様の御臨席を賜りましたことを、心より御礼申し上げます。

保護者の皆様には、立派に成長されたお子様の晴れの姿を御覧になり、今日までの日々を思い返されて、胸を熱くされているのではないかと拝察いたします。お子様の御卒業を心からお慶び申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました、268名の卒業生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

みなさんは、入学時からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、厳しい学習環境下においても、しっかりと高校での学びを続け、本日の卒業式を迎えられたことに、改めて祝意を申し上げます。

さて、卒業生のみなさんはこれまでの3年間を振り返ったとき、胸の中にはさまざまな思い出と、清々しい充実感で、いっぱいなのではないでしょうか。今日の卒業式は、高校生活のゴールであると同時に、それぞれの人生に向かっての新たなスタートでもあります。本校で培ったものが、これからの人生を支え、切り拓く礎になってほしいと願っています。

また、より良い社会の実現に貢献できる人へと、さらに成長してもらいたいと思います。

そこで、みなさんに2つの言葉をもとに、門出に際してのはなむけのメッセージを送ります。

一つ目は、「可能性」です。

こんな言葉があります。「**The sky is limit !**」。

直訳すると「空が限界だ！」になりますが、本当は「あなたの可能性は宇

宙に続く空のように無限である！」という意味の言葉です。

「自分に限界をつくるな！」とも言い換えられます。とても印象深く素晴らしいメッセージをもった言葉だと思います。

人は映画のスーパーマンのように空を飛ぶことはできませんが、飛行機を発明した結果、今や毎日何万もの人々が世界の空を飛び回っています。宇宙ロケットを開発し、月に人類を到達させたのは、実に50年も前のことですし、SF小説の話でしかなかった、人工知能をもったロボットも現実のものになり、新たなソサエティ5・0の時代を迎えようとしています。

もちろん、どれも諦めずに挑戦し続けた結果、実現したものです。

「可能性」を実のあるものにするには、ひたむきな挑戦と努力が必要なことを忘れてはいけません。かといって「どうせ無理だ」と諦めることのないよう、何事にも臆することなく、チャレンジし、自分自身の「可能性」を広げてください。

二つ目は、「教養」です。

英語で、「リベラル・アーツ」という言葉があります。和訳すると「人を自由にする学問」であり、昔から大学教育で大切にされてきた「学び」、つまり「教養教育」です。アメリカのハーバード大学は世界中から優秀な若者が進学することで有名ですが、そこで重視されているのは、この「リベラル・アーツ」です。

在学中は、専門的な内容よりも、政治学や文学、歴史学、芸術などを広く、それも主体的な姿勢で学ぶことを徹底されます。つまり、「学びの裾野を広くする。」、そして「自ら学び続ける。」姿勢が大切だということです。

専門性は重要ですが、それをどのように世の中に生かすのか、そんな場面では、むしろ幅広い知識やものの見方や考え方が大切になります。また、学んで身につけたことは、本来学校の中だけ、あるいはペーパーテストの中だけで完結するものでなく、現実には生じている、さまざまな問題の解決に役立つものでなくてはなりません。

これから、みなさんの人生は、平坦な道ばかりでなく、特に難しい課題に直面することになります。自分の頭で考え、適切に判断することが求められます。そのようなときに役立つのが、学びの裾野の広さ、つまり「教養」なのです。同時に、その裾野の広さは学び続けることで、もたらされることを忘れてはいけません。

みなさんは、コロナ禍という、まさに答えのない課題に向き合い、学びをつづけた三年間でした。本日、櫛（けやき）の杜があるこの成瀬の地を、自信と誇り、そして夢と希望を抱いて、新たに旅立つことになります。

夢は希望であり、目標でもあります。自分自身の「可能性」をしっかりと見極め、チャレンジする精神を、いつまでも持ち続け、決して、くじけることなく、強い意志と努力で、夢の実現に向けて突き進んでください。

最後になりましたが、あらためて保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。お子様は、人生の中で、心身の変化が激しい高校での三年間を終え、御覧のように、心も身体（からだ）も立派に成長され、今、学び舎を巣立とうとしています。

さぞかし感無量のこととご拝察申し上げます。また、これまでにいただいた、本校への御支援と御協力に対し、厚くお礼申し上げます。

結びに、在校生、教職員、保護者の皆様と共に、卒業生のみなさんの洋々たる前途を祝すとともに、大いなる活躍を祈念して式辞といたします。

令和5年3月11日 東京都立成瀬高等学校長 高野 修一